

評価報告概要表

■第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	平成23年10月19日 (水)

■福祉サービス事業者情報

名 称	華の浦学園	種 別	肢体不自由児施設
代表者氏名	施設長 松田啓示	開設年月日	昭和47年6月1日
設 置 者	社会福祉法人 山口県社会福祉事業団	定員(利用人数)	50人(42人)
所 在 地	〒747-0833 防府市大字浜方中浜205-1		
電 話 番 号	0835-22-3280	FAX番号	0835-22-3279
ホームページアドレス	http://jigyodan-yg.jp/hananoura/		

■総 評

全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

◇特に評価の高い点

●肢体不自由児・者の生活介護支援において、施設長を中心として職員が「その人らしさを大切に」の基本理念の基、安全かつ安心できる質の高い療育システムの構築、並びに経営努力は多いに評価できます。

●再々度の第三者評価事業の受審を経て、全職員が障害児・者の療育支援を理念として共有している所に、積極的な姿勢が伺える。こうした努力は、他施設の範として多いに評価できると思います。

●支援上の各種マニュアルの整備や、コンピュータネットワークの導入による情報の共有化が図られ、施設の持てる機能の最大限の提供をしている点は評価できます。

◇改善を求められる点

●開園以来、40年を迎えているが、ハード面、特にトイレや浴室がプライバシーの保持・保護の点に於いて、工夫している努力は伺えるが、新たな整備・改善をされることが望まれます。

■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

3回目の受審となりました。今回受審してみてもの所感は2つあります。

1点は、排泄の場面における利用者のプライバシー保護について改善すべきであるとの評価でしたが、このことは日々の業務の中で不安や疑問を感じているところでした。「不安や疑問を感じた」時は、即、工夫や改善を試みる。その積み重ねが質の良いサービス提供に繋がる事を痛感しました。

2点は、目に見えにくいサービスをいかに可視化し、更にサービスの説明責任をしっかりと果たしていくことの重要性を再認識しました。

今回の受審結果を真摯に受け止め、これからも引き続きサービスの質の向上に向け、邁進して参る所存です。

評価報告概要表

■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

I 福祉サービスの基本方針と組織	a	11	b	1	c	0	Na	0
<p>●「その人らしさを大切に」の理念の基、施設長はじめ職員一人ひとりが、問題の共有化を図り、かつ理念との整合性が果たされている点は、多いに評価できます。</p> <p>●全体として子どもの少子化が認められている現在ですが、障害児・者の数値は比例せず、現在も派生しております。又、利用者・保護者も加齢化しています。社会全体での組織形態が変容していきます。先駆的な工夫や、更なる努力が必要であろうと思います。</p>								

II 組織の運営管理	a	20	b	1	c	1	Na	0
<p>●パソコンネットワークを基調に、一つひとつの情報が集中管理される等、組織全体としての取り組みが、適切な運営管理へと連なっているところは、多いに評価できます。</p> <p>●先進的な見地での人事考課制度の整備が取り入れられているが、一部職員のみであり、今後は全体職員へと波及されんことを期待します。</p>								

III 適切な福祉サービスの実施	a	20	b	2	c	0	Na	0
<p>●施設長を中心に、職員全体が質の高い施設サービスを目指し、サービス提供を試みている。尚、且つ、一人ひとりの職員が情報を共有し、その技量が集大成として表出されることを希望します。</p> <p>●新体系移行にともなう生活システムの構築の中で、利用者にとって地域移行の考え方が具現化されることを期待します。</p>								

IV 良質な個別サービスの実施	a	26	b	5	c	0	Na	0
<p>●食事時間帯をフレックスタイム制をとっており、利用者一人ひとりに向合ったサービスの提供が図られているところは、他のサービス事業所へも、今後の在り方の範となると考えられます。</p> <p>●「その人らしさを大切に」の理念に基づいた一人ひとりのプライバシーが、保護・保持された支援の提供が益々充実し、確かなものになる事を期待します。</p>								